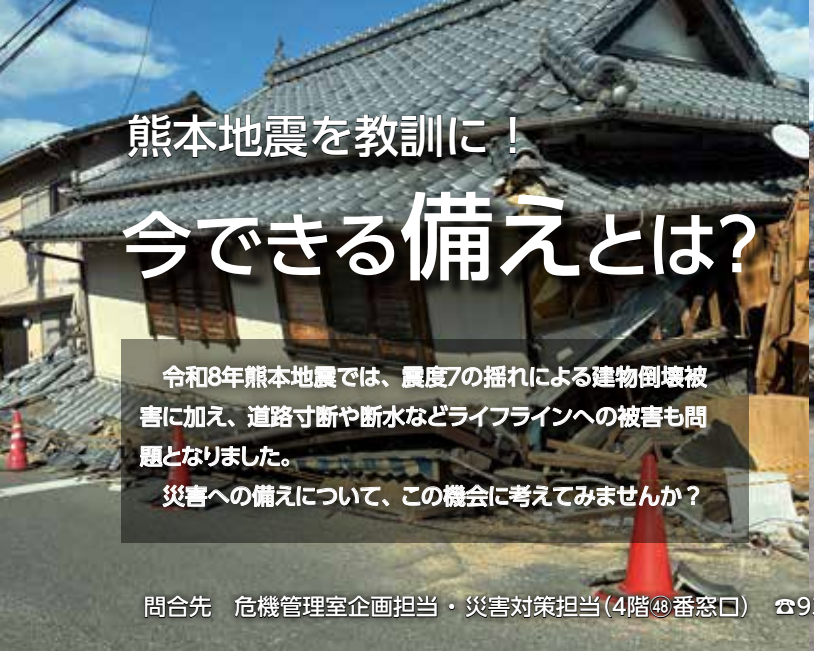


熊本地震を教訓に！
今できる備えとは？

令和8年熊本地震では、震度7の揺れによる建物倒壊被害に加え、道路寸断や断水などライフラインへの被害も問題となりました。
災害への備えについて、この機会に考えてみませんか？

問合先　危機管理室企画担当・災害対策担当（4階㊽番窓口）　☎939・1190



職員インタビュー
熊本で見た災害の実際



8月25日から31日までの間、八代市で被災地支援に従事した玉置さんに話を伺いました。

被災地の実情を目にし、感じたこと

建物の被害が、市内のあちこちで見られるため、ニュースなどで報じられるよりも実際の被害は大きいと感じました。また、地震の影響で段差ができている道路も多く、通行に注意が必要であるなど、実際に現地に行ってみないとわからない被害や生活の不便さがあるように感じました。

被災地で行った活動

罹災（りさい）証明書発行のための家屋の被害認定調査業務に従事しました。

被災地での生活の変化

交通網が早期に復旧したため物流は通常通り機能していましたが、井戸の利用が多い地域なので井戸水が濁ったり、水道の断水以外にも水の確保への影響が出ていました。

被災地で印象に残ったこと

地面の隆起や沈下で、新しい家でも大きく傾くなどの被害が出ているケースもあり、直下型地震の恐ろしさを目の当たりにしたことです。

被災地での支援を経験して課題に感じたこと

建物自体の被害は少なくても家具の転倒など家の中の被害は少なからずあったそうです。建物に耐震性があっても屋内の対策が不十分であれば、命の危険があることを改めて認識しておく必要があると感じました。

市民の皆さんへ伝えたいこと

地震の被害は事前に備えておくことで軽減できます。この機会にぜひ家具の固定など屋内の対策を進めていただければと思います。また、大きな災害で物資が届きにくくなることも想定して、家庭での備蓄もぜひ行ってみてください。

災害の時にあると便利なものは？

- **食料**　飲み水（1人1日3ℓ）・パックご飯・レトルト食品など。※7日分が理想
- **ウェットティッシュ**　手指の除菌、食器を拭くなど。
- **食品用ラップ**　食器に巻いて使用後に外して捨てることで汚れ防止、止血、体に巻き付けて保温。

※藤井寺市防災ガイドブックには、備蓄品の例をまとめています。



LINE で避難所受付！

市 LINE 公式アカウントでは、QRコードを使って簡単に避難所での受付が出来る機能があります。避難者情報をスマホで事前に登録しておくだけで、わずか数秒で受付手続きができます。便利な避難所受付機能をぜひ活用してみてください！